

海外安全対策情報（平成29年1月～3月）

1. 地域情勢

デトロイト市内では、依然として殺人や強盗事件などの凶悪犯罪が多発しています。これら事件の殆どは、ダウントウン及びミッドタウンを除く地域で発生していますが、ダウントウン等でも深夜を中心に強盗事件が発生しています。凶悪犯罪の多くは深夜に発生していますので、ダウントウンを含め、市内では夜間の外出は極力控えるようお願いいたします。当館ホームページに「安全情報・デトロイトへ旅行される皆様へ」を掲載していますので、市内を訪れる際の参考として下さい。

在留邦人が多く居住するノバイ市（ミシガン州）やダブリン市（オハイオ州）での凶悪事件の発生は極めて少なく、治安は引き続き良好と言えますが、邦人が被害者となる車上荒らしが断続的に発生しており注意が必要です。レストラン等で駐車する際は、可能な限り荷物を車内に置かないよう注意してください。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館管轄地域内の主要都市又は在留邦人が多数居住する地域の犯罪発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2017年1月1日から3月31日。括弧内は前3か月期比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	侵入盗	窃盗	自動車盗等
ミシガン州	デトロイト	43 (-41)	246 (+144)	610 (-276)	1978 (-734)	3549 (-350)	1890 (-493)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	12 (-1)	43 (-20)	21 (-10)
	アナーバー	0 (-1)	19 (+6)	17 (+3)	41 (-11)	148 (-47)	108 (-9)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	10 (-20)	49 (+9)	44 (+15)
	コロンバス	29 (±0)	11 (+11)	562 (+81)	1729 (+297)	2729 (+649)	1075 (+171)
	シンシナティ	システム調整中により未公表					

3. テロ情勢

3月26日（日）、オハイオ州シンシナティ市内のナイトクラブで銃撃事件が発生し、店内にいた客1名が死亡、16名が負傷しました。被害者の大多数がアフリカ系米国人で邦人被害はありません。30日にはアフリカ系米国人2名が殺人罪で逮捕されています。銃社会である米国では、定期的にこのような銃撃事件が発生しています。空港やイベント会場、ショッピングモールなど不特定多数が集まる場所では、特に周囲の状況に注意するようお願いいたします。

4. 日系企業の安全等に関わる諸問題

デモやヘイトクライムなど対日感情の悪化に係る事案は把握していません。